



Demonstrating LogicMonitor



ツールスプロール対処へのチャレンジ

見込み顧客が使用している多数のアプリケーションやツールを定期的にもリスト化しアップデートしているでしょうか？データベース監視製品、ネットワーク可視化用、そしてクラウドインサイト用等々... これらすべてを把握できているでしょうか？ 彼らは、IT チームが日々取り組んでいる課題への取り組みに加えて、ツールスプロールの影響を想定して対策を進める必要があり、リストにあるツールの実装、ツール関連のユーザ向けトレーニング、ツール間のデータ相関、そしてワークフローの同期といったアクションを行わなくてはなりません。

LogicMonitorにより、見込み顧客の様々な監視製品を1つに統合することができます。具体的には、信頼できるリソースの絞り込み、問題解決までの平均時間短縮、そして工数と費用の最小化を実現します。

発見と能力

いくつかの有力な質問は、課題を浮き彫りにします。

- 現在使用している監視ツールは何でしょうか？またどのようにそれらを活用していますか？
- これらツールを自ら積極的に統合しようとしていますか？
- あなたの現在の監視ポリシーはランク付けするとしたら 1-10 の段階でどの位置とお考えですか？

より効果のあるデモ実施のために、さらに追加で質問をすることが大切です。

- 現在のツール類でカスタマイズできるものはどのようなものがありますか？またそのかかるコストはいくらでしょうか？
- 現在のツールはどのようにビジネスワークフローの変化に対応できますか？ (例. ワークフロムホーム、クラウドへの移行等)
- ツールのアラートはどのように可視化され管理されますか？
- 現在のツールはどのようにインテグレーションができますか？

LM ソリューション

LogicMonitor が持つ課題解決のための優れた特徴と機能を理解してもらうために、下記のような事例ストーリーとデモが大変効果的です。

Case Study (ヘルスケア)

[Bupa](#), 豪州とニュージーランドに展開しているヘルスケア会社、は、400万人を超える顧客にサービスを提供しています。2017年の会社買収後、Bupaの IT チームはネットワーク運用を合理化し、コスト削減につながるインフラストラクチャー監視が必要なことにすぐに気づいたです。

“LogicMonitor により、部門毎に個別に使用されていたツール類を統合し、自分たちのサービスやアプリケーションが抱える本質的な課題を認識することができました。たとえチームがwebサイト関連の問題を監視しようとしても、特定の監視ツールではアクセス出来ないケースがありましたが、LogicMonitorを活用することでその問題を解決しました。” - Dennis Huynh, Reporting and Monitoring Manager, Bupa

SaaS アーキテクチャ

LogicMonitorの SaaS アーキテクチャは LogicMonitor ポータルから 1 つの画面でインフラストラクチャーメトリックス全体を表示することが可能です。

ネットワーク、ストレージ、クラウドといった様々なデータを表示するダッシュボードを見込み顧客に見てもらいましょう。

Dashboard概要 - Citrix Xenapp

XenApp Dashboard は メトリックス入力後のダッシュボード状態を説明するために非常によいサンプルになります。ダッシュボード上には異なるロケーションのシステムの健康状態を知らせる NOC と Map widget が示されます。また、ユーザはネットワーク機器の性能に加えてデータベースの接続性やその他詳細の健康状態 (例. 仮想化、OSレベル性能等)をダッシュボード上で見ることが出来ます。複数のコンソールやアプリケーションにアクセスせずに、システム内のアラートがインフラストラクチャーの各監視項目と自動で関連付けられたうえでダッシュボード上で可視化されるため非常にメリットがあります。



エージェントレスによる自動検知

LogicMonitor はSaaSベースのソリューションのため、追加でハードウェアをインストールする必要がありません。加えて、各監視対象デバイスへのエージェントのインストールも必要ありません。

成功ストーリー: Bupa は LogicMonitorのインストール後 30分以内で500デバイスのメトリックスを監視することができました。サーバとエージェントのインストールが不要になったことはかなりのROI改善につながります。

リソース:

リソースタブからデバイスを簡単に追加することができます。1つ、あるいは複数のデバイスを追加するオプションとして、手動、ウィザードベースまたはネットワークスキャン(右図)といった複数の方法が用意されているため非常に柔軟です。

Add NetScan

Support X

IP address range [?] (Required)

Exclude [?]

Put into this group [?]

Auto - group for each device type Create a group Unmonitored group

Naming [?]

use DNS name (reverse DNS)

Schedule [?] TIME ZONE

Now

Collector Group

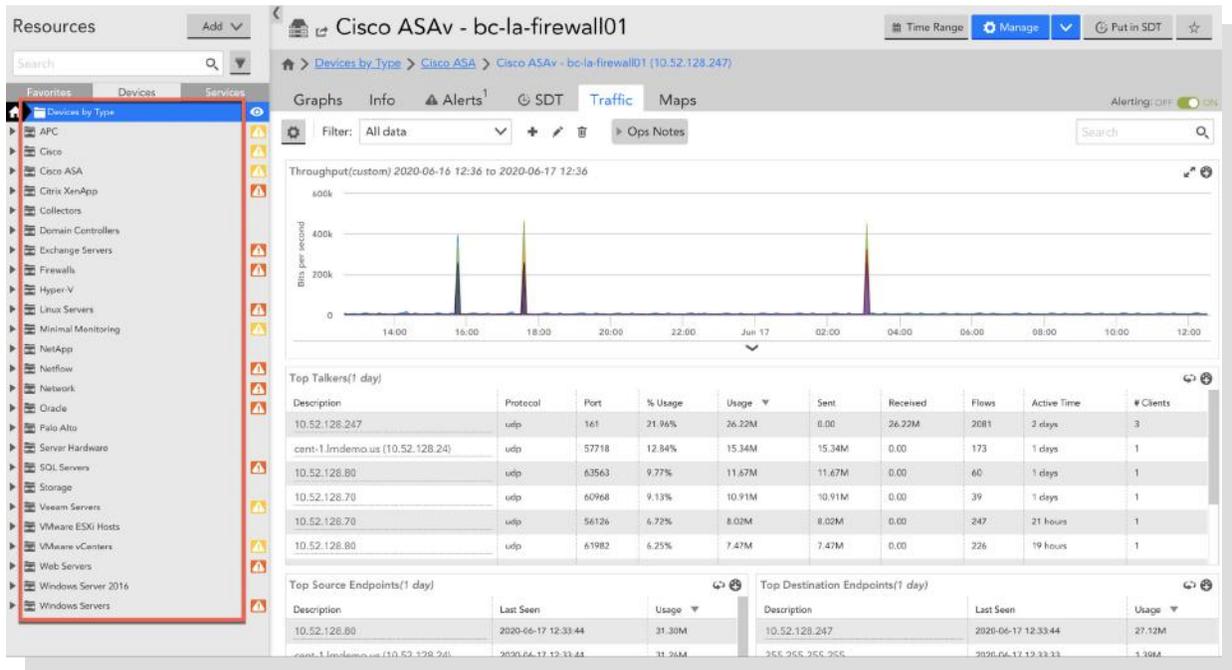
Select a Collector Group to filter the Collector field

Collector (Required)

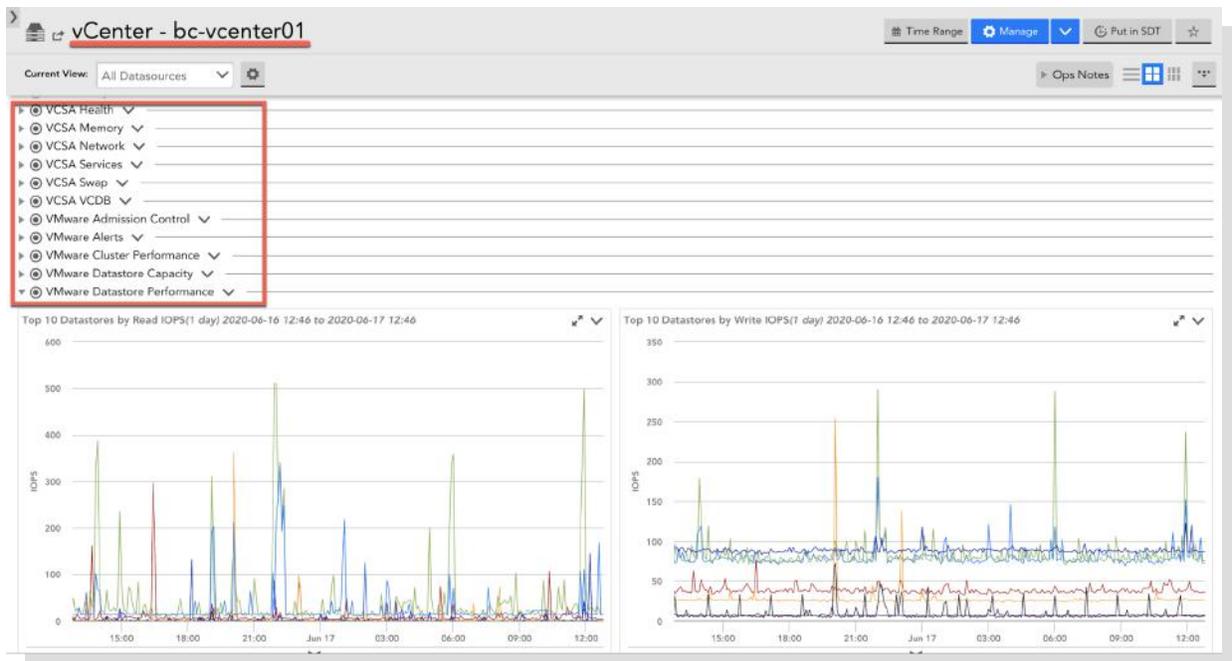
Select custom ports to scan [?]

Cancel Save & Run

LogicMonitor コレクターは、プロパティに基づいてデバイスタイプを自動的にグルーピングします。ネットワークデバイス、Linux サーバ、vCenters、およびストレージデバイスは、動的グループに割り当てられることで管理が非常に容易です。



管理: LogicMonitor は 2000以上もの設定済の監視テンプレートが用意されており、それらを使用することで最適なメトリック監視が可能になります。これは vCenter テンプレートのサンプル例ですが、ポータルのリソースタブの “Devices by Type” の下にある vCenter ホルダーにあるテンプレートを使用できます。



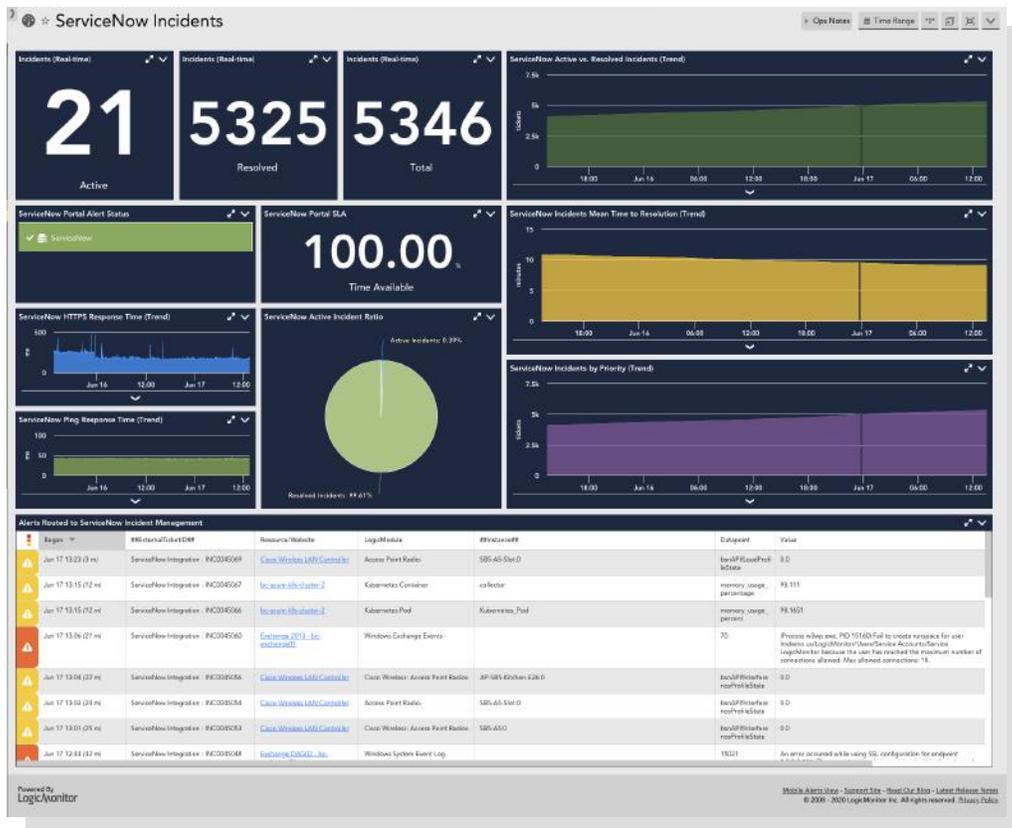
インテグレーション

LogicMonitor は プロセスのフローの合理化に役立つ多くのツールとインテグレーションすることができます。このインテグレーションはオープン APIを備えた任意のツールで可能です。多くの顧客は LogicMonitorによって通知されるアラートをSlack、Teams、Ansible、Puppet、ServiceNow といった製品とインテグレートした上で使用しています。

ServiceNow ダッシュボード

LogicMonitorと ServiceNow とのパートナーシップにより、CMDBとの双方向のコミュニケーションを実現しています。2つの製品で共有される情報をダッシュボード上に作成することが可能になっています。

ServiceNow incidentsの関連データはLogicMonitor上で表示され、一方で LogicMonitor のアラートはServiceNow のチケット



やインシデントの作成が可能です。つまり両ポータルのリソース管理までできることになり、この価値は企業内のビジネスに不可欠な既存のツール類を強化しROIを最大化することにつながります。

アクセス

デモ環境を構築し、LogicMonitor ポータルにアクセスするためには下記コンタクト願います。SaaSpresto社LogicMonitor サポート sales_logicmonitor@saaspresto.jp